

前立腺がんの治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

前立腺がんは、加齢に伴い罹患率が上昇するため、高血圧や糖尿病、心血管疾患などの併存疾患があることが多く、投薬が増えポリファーマシーに至りやすい。前立腺がんの治療では、アパルタミドおよびエンザルタミドが用いられるが、これらの薬剤には、cytochrome P450 (CYP) 3A4、2C9、2C19 や P-糖タンパク質などに対して誘導作用を有することが知られており、薬物相互作用が問題となる。そこで今回、浜の町病院でアパルタミドおよびエンザルタミドを服用している患者の使用薬剤の実態調査をおこなう。

対象

2021年9月1日より2024年8月31日までの間に、当院でアパルタミドおよびエンザルタミドを処方された患者

【試料・診療情報等の項目】

診療情報：年齢、使用薬剤数とその薬効、相互作用の内容

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、松下尚弘までご連絡をお願いします。

研究課題名

アパルタミドおよびエンザルタミド使用患者における潜在的な相互作用に関する実態調査

【方法を記載】

まずアパルタミドおよびエンザルタミドを服用した期間中に内服していた薬剤を調査します。次にその内服していた薬剤とアパルタミドおよびエンザルタミドの間にどれくらいの相互作用があるかを調査します。

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

病院長承認日～ 2025年3月31日

医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により相互作用の実態が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 薬剤部

【当院での研究責任者】所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 松下 尚弘

【利用する者の範囲】

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 古賀清弘

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 田中 早穂子

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 黒木吟美

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 野中敏治

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 吉田 実

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

対応者：浜の町病院 薬剤部 松下尚弘

連絡先：092-721-9918（平日：8：30 - 17：15）

以上